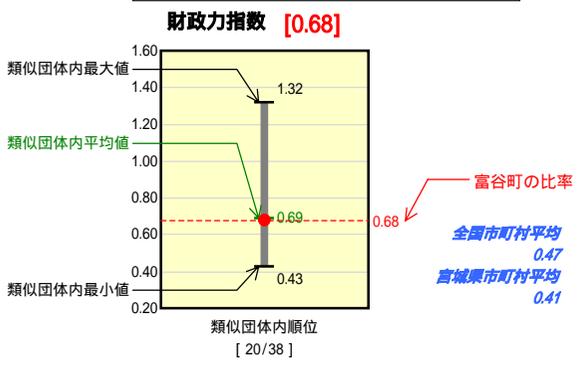


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

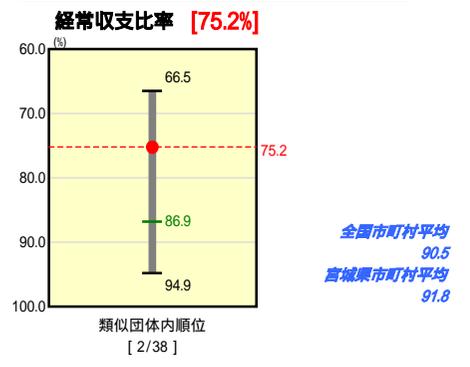
宮城県 富谷町

人口	41,397人(H17.3.31現在)
面積	49.13 km ²
歳入総額	11,250,037千円
歳出総額	10,638,064千円
実質収支	521,704千円

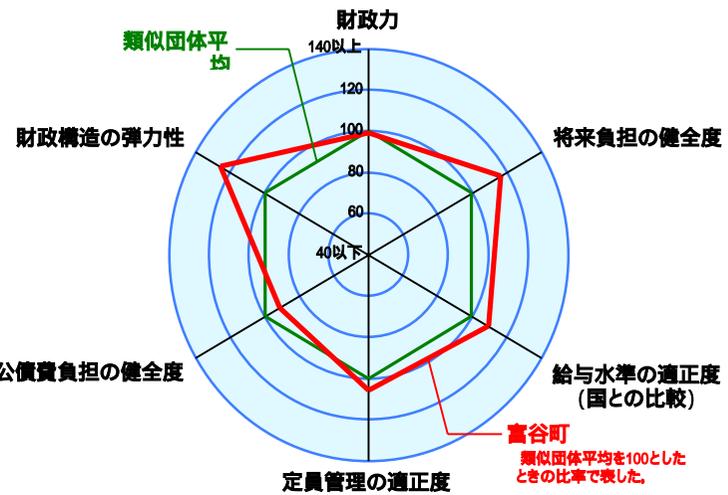
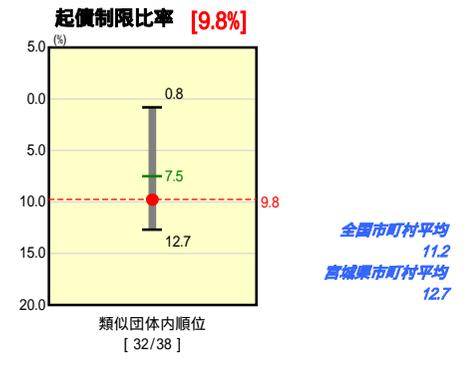
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度

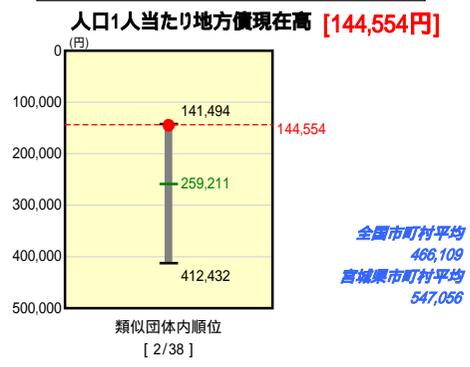


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

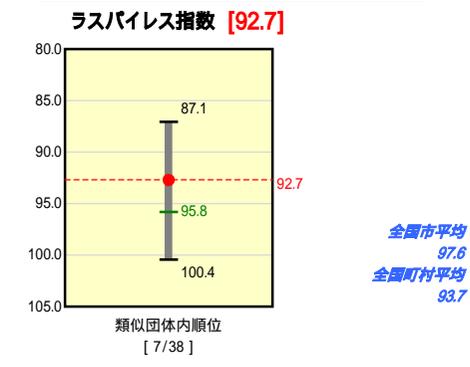
分析欄

- 財政力指数**
- ここ5年間連続した伸びを見せており16年度は前年度比0.04ポイント増の0.68となっている。近年の大規模な宅地開発による人口の増加や法人数の増加等による基準財政収入額の増加が主な要因である。
- 経常収支比率**
- 減税補てん償満期一括償還(575,200千円)の影響が大きかった(経常収支比率うち公債費 H15:17.6 H16:0.1)ものの、法人税割の伸びにより、経常一般財源が大きくなり数値は大きく改善された。
- ラスパイレス指数**
- 職員の平均年齢が低いことなどにより、全国、県内及び類似団等全てにおいて平均より低いものとなっている。
- 起債制限比率**
- 減税補てん償満期一括償還分が、通常の元金分に加算されたため、16年度半年では15%を超えることとなった。
- 人口1人当たり地方債現在高**
- 前述の減税補てん償満期一括償還により後年度の公債費負担が大幅に改善されたことや堅調な人口の伸びにより住民1人当たりの地方債現在高は減少している。
- 人口1,000人当たり職員数**
- 人口増加に伴う業務量の増を、職員採用により対応していたが、平成13年度の282人をピークに機構改革やOA化により新規採用の抑制を図ってきたことと堅調な人口の伸びにより、類似団体平均より低いものとなっている。(平成14年度-平成17年度 15人 5.3%の純減)

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

